

アステックペイント大規模改修専用

水性一液 ビルドフィラーエポ

水性形一液外壁用可とう形エポキシ系下地調整材

Renewal Line

**BUILD
SERIES**

リニューアルライン
ビルドシリーズ



◆ 対応素材

窯業系サイディング・モルタル※・ALC・コンクリート※・各種旧塗膜

※既存塗膜の劣化が著しい場合、又は既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。

◆ 試験結果

■ JIS A 6909 建築用仕上塗材

『低温安定性』『初期乾燥によるひび割れ抵抗性』『付着強さ』『温冷繰返し』『透水性B法』『耐衝撃性』

『ひび割れ充填性』『可とう性』 全て合格

◆ 標準施工仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔(25℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	水性一液 ビルドフィラー エポ	16kg	—	0.3~0.6ℓ(清水)	0.80~1.5kg/m ²	1	—	5時間以上	—	多孔質ローラー
				0.9~1.2ℓ(清水)	0.30~0.60kg/m ²	1~2	5時間以上	5時間以上		ウールローラー
				0.6~0.9ℓ(清水)	0.70~1.2kg/m ²	1~2	5時間以上	5時間以上		リシガン

【下地調整】

- ・劣化し脆弱な部分及び錆等は、ディスクサンダー、スクレーパー等により除去する。
- ・漏水箇所は予め水が浸入しないように処置し、汚れ、付着物、油脂類等を高圧洗浄、スクレーパーやシンナー等で除去する。
- ・塗装する下地は、清浄かつ、十分に乾燥させる。
- ・劣化したシーリング材は全て撤去し、新規シーリング材で打ち替える。

【施工上の注意】

- ・雨・強風・結露等の悪天候及びこれらが予想される場合には施工は避けてください。
- ・5℃以下、湿度85%以上の施工は避けてください。
- ・使用する前に塗料を十分に攪拌してください。
- ・ウールローラー施工の場合、塗回数が増えることがありますのでご注意ください。
- ・リシガンを用いて施工する場合には塗装ロスが大きくなりますので、塗布量の上限値を目安にしてください。
- ・上記塗布量及び塗回数は下地の材質・状態等で増える場合があります。
- ・既存塗膜の劣化が著しい場合、又は既存塗膜のないセメント系下地に直接施工する場合、必ず事前にシーラーを塗布してください。
- ・スタッコのような凹凸が大きい下地に塗装する場合、また25℃以下で塗装する場合、乾燥時間が延びることがあります。

◆ 製品データ

荷姿	16kg
塗布量	多孔質ローラーの場合:0.80~1.5 kg/m ² ウールローラーの場合:0.30~0.60 kg/m ² リシガンの場合:0.70~1.2 kg/m ²
希釈	多孔質ローラーの場合:0.3~0.6ℓ(清水) ウールローラーの場合:0.9~1.2ℓ(清水) リシガンの場合:0.6~0.9ℓ(清水)
色	白